

令和7年度 心を育む学校給食週間の取組み

◆実施校数:332校

学校給食を実施している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

◆実施内容

「おこない」づくり	しっかりした味覚を育て、おいしいものを見分ける力をもつ。 望ましい食習慣と規則正しい生活習慣を身につける。
-----------	--

【取組みの特徴】

地元の食材に触れて学ぶ活動や地場産物をふんだんに使った魅力ある給食、我が家や地域に伝わる伝統料理の調理実習等を通して、改めて山形の食のおいしさを実感するなどの取組みが多かった。

また、日常生活習慣(特に朝ごはん)や食事のマナー(姿勢・食べ方・箸の持ち方・食器の返し方等)、衛生管理(手洗い等)について楽しみながら自己評価して日々の食生活を振り返る取組みや、災害時の食事、給食とSDGsの視点から、マナーについて考え行動する取組みもみられた。

「つなぐ・味わう・金山の食」(金山町)

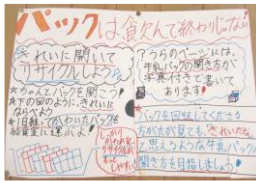

～はじまりの味から、みんなでつくる未来の味へ～


実施献立

配布資料



「おこない」づくり(自己管理能力の育成)取組事例

学校名	山形市立第七小学校
実施期間	令和7年9月24日(水)～9月30日(火)
<p>【委員会活動】</p> <p>○牛乳パックリサイクルの実施に向けて</p> <p>牛乳パックリサイクルに向けて、給食委員を中心に、下記の通りステップを踏みながら全校実施を図った。牛乳パックの開き方を動画で放映→各学級に開き方を伝える(2回練習→ポスターで掲示→実施→気を付ける点を放送で知らせる)</p> <p>◎成果</p> <p>牛乳パックリサイクル化を子どもの活動を中心に全校実施を図り、10月1日より軌道に乗せることができた。</p>	
 	

校名	山形市立大曾根小学校
実施期間	令和7年12月2日(火)～12月5日(金)
<p>【健康なからだ作り】</p> <p>○食に関する保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室と連携し、健康と食習慣に関わる掲示を行った。 ・「食の安全と衛生」をテーマに食に関する保健指導を行った。1・2年生は、なぜ食事のマナーを守る必要があるのか考えた。3～6年生は、食事後の歯磨きがいかに大切であるかを学んだ。 <p>◎成果</p> <p>養護教諭の協力のもと、食と健康の関係への興味関心のきっかけとなるような掲示物を作成した。立ち止まってじっくり見ている児童や、掲示の仕掛けに触れて見ている児童もいた。3年生から6年生までの児童が給食後の歯磨きをおろそかにしてしまうという現状があった。そこで保健指導では、歯磨きをした場合としない場合の口の中に存在する菌の顕微鏡写真を見比べることを通して、児童たちは、菌の数の違いに驚いていた。その後は歯磨きの大切さを知り、給食後の歯磨きをより一層丁寧にする姿が見られた。</p>	
	

校名	山形市立第四中学校
実施期間	令和8年1月26日(月)～1月30日(金)
<p>【委員会活動】</p> <p>○キャンペーン活動の実施</p> <p>今年度よりおぼん併用からランチョンマットのみの使用に移行した。委員会で「配膳前に全員がランチョンマットを敷いて食事の雰囲気をつくろう」キャンペーン活動を行った。</p> <p>◎成果</p> <p>給食当番も着替える前にランチョンマットを敷く習慣がついてきた。また、今年度は運搬・配膳方法の変更に伴って委員会週番班と教職員の配置や仕事内容を見直すことができた。</p>	

学校名	寒河江市立陵南中学校
実施期間	令和7年11月4日（火）～12月19日（金）
<p>【家庭と連携】</p> <p>○My 弁当作りの実施</p> <p>・栄養教諭に弁当作りのコツを聞いたり、資料を参考にしたりしながら、彩りや栄養に考えて計画をたてた。また、おかず選びや食材を選びのために家族や友達からアドバイスをもらい、楽しみながら弁当作りを行うことができた。感想では、食事をつくることの大変さを感じたと共に、家族へ感謝する感想が多く見られた。協力してくれた保護者からもあたたかいメッセージが多く寄せられ、家庭でも「食」を話題にする機会となった。</p> <p>・当日作った弁当の写真を撮り、計画書と共に教室前廊下に掲示した。三者面談の期間でもあり、保護者にも見ていただくことができ、家に帰ってからさらに話題にした家庭もあった。</p> <p>◎成果</p> <p>計画書づくり、調理の準備、弁当づくり、振り返り、保護者からの感想など大変なこともあるが、様々な協力を得ながら実施することができた。全て作れなくても、何か1つは自分で作って弁当に入れることができるように取り組むことができた。今後も、家庭との共通理解を図りながら、番頭づくりを通して食の大切さを家指導していきたい。</p>	

学校名	尾花沢市立常盤小学校
実施期間	令和8年1月14日（水）～1月21日（水）
<p>【食育の充実・家庭との連携】</p> <p>○小豆つかみリレー</p> <p>小豆つかみセットを自由に使えるようにし、食べ終えた児童が自主的に正しい箸の使い方ができるように練習している。また、児童委員会が、たてわり班ごとの小豆つかみリレーを計画し、正しい箸の持ち方をお互いに確認しながら楽しく練習に励んだ。</p> <p>○スポーツフェスティバル（運動会） 親子での小豆つかみリレー</p> <p>スポーツフェスティバル（運動会）の種目に昨年「手とり豆とりフレンドリー」と題して保護者と共に小豆つかみをしながらリレーする競技を取り入れている。家庭でも練習しているという声が届き、親子で箸の持ち方に注目してみる機会になった。</p>	

学校名	新庄市立日新中学校
実施期間	令和8年1月26日（月）～1月30日（金）
<p>【食育の充実】</p> <p>○朝食アンケートの結果を踏まえた食育</p> <p>全校で「朝食アンケート」を実施し、朝食の摂取について生徒の実態を把握した。アンケートの結果を踏まえて日新小学校の栄養教諭による食育授業を実施し、朝食や中学生に必要な栄養について理解を深めた。栄養教諭から提供していただいたおすすめ朝食レシピと中学生も作りやすい季節の食材を使った簡単レシピは廊下に掲示し、生徒たちの関心を高めた。</p> <p>◎成果</p> <p>日新小学校の栄養教諭と連携し、食育授業や多くの資料を掲示したことで、生徒たちは自分の食生活に関心を持ち、考える機会を作ることができた。</p>	

学校名	高島町立亀岡小学校
実施期間	令和7年12月1日（月）～12月10日（水）
<p>【食育の充実】</p> <p>○全校弁当の日の実施</p> <p>全校弁当の日を実施し、縦割り班ごとに会食した。主体的によりよい生活を目指そうとする姿勢を育てるねらいで、5・6年生は自分で弁当を作る、3・4年生は何か1品作る、1・2年生はお手伝いをする（買い物、野菜を洗う、つめる、おにぎりを握る、皿洗い等）ことに取り組んだ。</p> <p>○動画視聴 有機米「まほろばみのり米」について</p> <p>給食時間に有機米「まほろばみのり米」についての動画（町内栄養教諭作成）視聴をした。</p> <p>◎成果</p> <p>有機農業について知ることができ、これからも地域の安全でおいしいお米や野菜を食べていこうという気持ちや、手間暇かけて作って下さる方への感謝の気持ちを持つことができた。</p>	



学校名	飯豊町立第一小学校
実施期間	令和7年12月8日（月）～12月12日（金）
<p>【食育の充実】</p> <p>○残食の量をおにぎりに換算して掲示</p> <p>特にごはんの残りが多いと学年によって残食の量に差があり、少しでも減らしたいと思い、1個約100グラムのおにぎりに換算して学年ごと掲示した。子ども達同士で掲示を見ながら、「〇年生は少ない。私たちも残さないで食べよう！」と話す姿が見られ、残食量の減少につながった。</p> <p>◎成果</p> <p>残食の量を「おにぎり」の数で具体的に示すことで、残食をなくそうとする意識が高まった。また、「こんなに多く捨てられている。」と話す子もおり、残食をなくすことは食品ロスの取り組みにもつながると気づく子もいた。</p>	



学校名	三川町立東郷小学校
実施期間	令和7年5月～令和8年1月
<p>【給食時間の活動】</p> <p>○ランチルームを活用しての食育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームを活用し全校ランチルーム給食を行った。いつもと違う楽しい雰囲気の中、上級生のマナーや食事量を見て学んだり、リーダーシップ・フォロワーシップを発揮したりする場を作った。片づけの際には、床に落ちたストローのごみや食べ物など、進んで片づける児童を称賛し、取り上げるよう心がけた。 ・給食の時間にすこやか委員会の当番児童が健康、食事に関するクイズを出題した。食事や栄養に興味関心を持たせるために、継続して行った。 <p>◎成果</p> <p>全校ランチルーム給食では、異学年による学びや、リーダーシップ、フォロワーシップが育つ場を作ることができた。また、進んでごみを片づけるなどのおもいやりあふれる行動も増えた。</p>	



学校名	山形県立山形盲学校
実施期間	令和8年1月9日（金）～1月30日（金）
<p>【食育の充実】</p> <p>○いろいろなスパイスより料理を知る</p> <p>世界の料理特集で、様々なスパイスを給食で使用した。いろいろなスパイスやハーブのにおいを体験し、どんな料理に使われているのかなどを考えた。</p> <p>◎成果</p> <p>におい体験を通して、どんな料理に使われているのかなど想像力を働かせて、食に対する興味を深めることができた。</p>	



学校名	山形大学附属特別支援学校
実施期間	令和8年1月9日（金）～1月30日（金）
<p>【栄養教諭と連携】</p> <p>○栄養教諭による食指導</p> <p>小学部では、いろいろな食べ物に興味をもって食べる、食事と元気な体の関係を知る、マナーに気を付けて食事することをねらいとして取り組んだ。身近な食べ物は何かから作られているか、元気な体を作るために必要なこと、よりよい食事の仕方について、栄養教諭によるクイズや講話を通して学習した。</p> <p>◎成果</p> <p>ツナは魚から、豆腐は大豆から作られていることを知り、いろいろな食べ物への興味を広げることができた。何でも食べると元気な体になることを知り、残さず食べようという気持ちをもつことができた。また、姿勢を正したり、食器を持ったりして食事をすることができた。</p>	

